

NEWS



特集 オープンキャンパス

OECU Club & Circle

Photo部／卓球部

・NEWS & TOPICS ・受賞報告
・ベリーベリープロジェクト近況報告 ・国際交流

大阪電気通信大学高等学校NEWS

・ニュース／生徒活動奨励者一覧
・進路状況／説明会案内／入試概要など

・2016年度決算報告／2017年度予算

女子バスケットボール部

府民大会 優勝

Open Campus 2017

6月18日に「授業体験型」、7月23日、8月26日に「自由参加型」のオープンキャンパスを開催しました。寝屋川キャンパス(工学部、情報通信工学部)、四條畷キャンパス(医療福祉工学部、総合情報学部)で、学科紹介、AO入試説明、個別相談をはじめ、各学科の特徴を活かした多彩な体験・展示プログラムを実施しました。今年は、2018年4月スタートの工学部建築学科と総合情報学部ゲーム＆メディア学科／デジタルゲーム学科のプログラムも盛り込まれており、大勢の方々にお越しいただきました。学生スタッフも笑顔で受付や誘導、各ブースでの説明を担当し、オープンキャンパスを盛り上げました。



6月 授業体験型

寝屋川キャンパス

2018年4月に開設する建築学科の魅力をたっぷり体験できるプログラムをはじめ、電気電子工学科のラジオ製作実習、情報工学科のAI(人工知能)プログラムの体験など、毎年人気のプログラムも多数揃いました。



建築学科 特別講演

京都工芸繊維大学 副学長 森迫清貴 × 大阪電気通信大学 工学部長 榎本博行



四條畷キャンパス

2018年4月に開設するゲーム＆メディア学科／デジタルゲーム学科について、それぞれの特徴を活かしたプログラムを実施。その他、医療福祉工学科の医療機器体験や理学療法学科の物理療法体験など、本格的な体験プログラムを多数実施しました。



6月18日は、「一つの学科をじっくり体験し、深く理解していく【体験授業型】のオープンキャンパスを開催。興味・関心のある学科を【大学紹介】→【学科紹介】→【体験授業】の流れでご参加いただきました。

寝屋川キャンパス



7月から盛り込まれた建築学科の新プログラムをはじめ、基礎理工学科のリケジョ向けアクセサリー作りや、通信工学科のWebアプリ作成など、男女問わず楽しめるさまざまなプログラムを実施しました。



四條畷キャンパス



6月と同じく、ゲーム＆メディア学科／デジタルゲーム学科のプログラムは大盛況でした。

またVR・ARシステム体験など今話題のコンテンツを盛り込んだ情報学科のプログラムや、健康スポーツ科学科の各種測定・筋トレ体験にも、熱心な参加者が多数訪れました。



7・8月 自由参加型

7月23日、8月26日は、全学科を自由に体験できる「自由参加型」のオープンキャンパスを開催。約80種のさまざまなプログラムの中から自由に選んでご参加いただきました。

個別相談・就職質問コーナー

各オープンキャンパスでは、高校生や保護者の方々の個別の疑問や悩みに対応できるよう、個別相談コーナーや就職質問コーナーを設け、教職員らが説明を行いました。列ができるほど大勢の参加者が訪れ、本学への興味・関心の高さが伺えました。



その他の体験・展示プログラム

学科のプログラム以外にも、自由工房やJIAMS、実験センターなどでさまざまな体験や展示を行いました。体育館やグラウンドではクラブ活動紹介も実施し、課外活動や学生プロジェクトに興味をもっていただくことができました。





Photo部は現在部員20人。大きなイベントを除いて、活動日時は特に決まっていません。部長を務める渡邊樹さん(情報通信工学部通信工学科4年生)によると、その自由な気風がPhoto部の魅力なのだと。『カメラ』と言っても、人によって撮影の対象はさまざま、「部活として皆で何かを撮る」と制限してしまうと、個人の良さが失われると同時に、全員が撮りたい写真ではなくなります」と渡邊さん。そのため、基本的に個人活動とし、メンバーそれぞれが好きな時に好きなものを撮るという、自由な活動を楽しんでいるようです。

一方、7月の七夕祭や、10月の大学祭では部員全員が参加し、写真展示などを行っています。また最近では学内外から依頼を受けて撮影することも。Photo部は創設してまだ日が浅い部ですが、少しずつ、学外から「町の祭りの風景を撮って欲しい」などの依頼も頂けるようになったそう。今後は、地域の方々はもちろん、他大学の写真部など、学外との交流やつながりをますます増やしていくことを目指します。

OECU Club & Circle

大阪電気通信大学の クラブ・サークル活動に迫る!

初心者でも簡単にでき、親しみやすいスポーツとして人気の卓球。展開が速く、見る分にも面白いスポーツです。卓球部の部員は現在21人。月・水・金曜日の週3日、フットワーク練習や課題練習、試合形式のゲーム練習などを中心に、寝屋川キャンパスの厚生棟で活動しています。

今年の4月から5月にかけて開催された平成29年度春季関西学生卓球リーグ戦では、男子4部校Bブロックで優勝、続く入れ替え戦も勝利し、見事3部リーグに昇格。部長の樋元悠人さん(工学部機械工学科3年)



生)は、「最初は実感がわからなかったが、ずっと目標にしていたのでとても嬉しい。3部リーグでは相手がもっと強くなるので、今まで以上に気を引き締めて練習したい」と語ってくれました。昇格の秘訣について尋ねると、毎日遅くまで練習したことと、新入生が入って部員たちが刺激を受けたことが大きかったそう。今回のリーグ戦では、新入生や2年生も大いに活躍。今後は、リーグ戦さらに上を目指すことはもちろん、個人戦でも良い結果を出すことを目標に、部員一丸となって頑張りたいということです。



卓球部からのメッセージ

卓球は初心者でも簡単に始めることができ、集中力、即時の対応力を養うことができる面白いスポーツです。部は先輩後輩がみな仲良く、卓球のことだけでなく、いろいろなことを気兼ねなく話せる雰囲気です。練習終わりにご飯を食べに行ったり、打ち上げや忘年会をしたりと、楽しみながら日々活動しています。初心者も経験者も、興味のある方は是非一度見に来てください!



左から北さん、田島さん

阪神大学野球連盟からの依頼で「ベースボールカウンター」を製作

工学部電気電子工学科の学生及び職員がベースボールカウンターを製作し、4月9日に南港中央野球場で行われた阪神大学野球連盟春季リーグ戦開会式終了後に寄贈しました。

この取り組みは、阪神大学野球連盟から「公式戦会場によってはベースボールカウンターがないため、持ち運びができるものを製作してほしい」との依頼を受けて実施したものです。本学実験センター及び3D造形先端加工センターの技術指導員の設計、指導の下、田島将史さん、北克大さん(いずれも工学部電気電子工学科3年生)が基板からベースボールカウンターを製作しました。

強い太陽光直下でも見えるようなコントラストの実現や、防水、耐久性のために採用した金属製制御BOXにおける電磁波の減衰抑制などに苦労しましたが、無線で操作できるようにコントローラーも自作し、コンパクトながら高性能なものに仕上りました。

機械工学科と株式会社前川製作所との連携講座

4月10日、工学部機械工学科3年生を対象とした株式会社前川製作所との連携講座が始まりました。

この連携講座は、株式会社前川製作所で産業用冷凍空調の技術開発に携わっている技術



基礎理工学科の新入生歓迎イベント「卵落としコンテスト」開催

5月19日、工学部基礎理工学科の新入生歓迎イベント「卵落としコンテスト」を寝屋川キャンパスで開催しました。

「卵落としコンテスト」は、A2ケント紙1枚、はさみ、ものさし、セロハンテープなどの限られた材料を使って卵を守る緩衝器を作成し、卵が割れないように学舎5階から落とす競技で、今年で11回目を迎える基礎理工学科の恒例行事です。

新入生は14チームに分かれ、約1か月前から製作を開始。当日は、各チームの代表者が設置されたのをめがけて順番に作品を落とし、14チーム中6チームが卵を割らずに落とすことに成功しました。風が少し強く、作品が壁にぶつかるなどのハプニングもありましたが、拍手や歓声、笑いが絶えず、参加者全員が大いに楽しみました。

結果は、卵を割らずに、かつ目標に最も近い位置に落下させた2チームが最優秀作品賞を



者の方々を講師としてお招きし、「我々の生活環境を支え、地球環境を守る技術—冷凍空調—」をテーマに、全15回の講義を開催するものです。

講義では、冷凍空調および熱関連の産業技術の歴史、圧縮機の仕組みと理論、食品の冷凍・冷蔵技術といった基本的な知識をはじめ、業界や大学における研究開発の動向や最先端技術まで幅広く学びます。また、若手技術者の方々による講義では、大学での学びを企業でどう活かすかや、企業で活躍するために学生時代に身につけておくべき素養など、学生に向けた情報提供も行なわれます。

7月10日には、現在も同社顧問として助言や指導などの活動をされている前川正雄氏をお招きし、「製造業からみた21世紀の世界と人と組織」をテーマにご講演いただきました。

受賞。その他、優秀なプレゼンテーションを行ったチームや、卓越したアイデアで作品を作ったチームなどにも賞が贈られました。基礎理工学科主任の柳田達雄教授は、「仲間とのコミュニケーション」と「モノづくりを楽しむこと」を目的に開催している。学生らが和気あいあいと楽しく取り組んでくれてよかったです」と笑顔で語りました。

また、このイベントの様子は、読売新聞や毎日新聞などに取り上げられ、大変注目されました。



5階から作品を落とす学生たち

電気電子工学科と日本電設工業株式会社との連携講座



工学部電気電子工学科では、毎年企業との連携講座を開講しています。4月14日、電気鉄道技術の分野で最先端をいく日本電設工業株式会社との連携講座が始まりました。

初回の講義は、日本電設工業株式会社取締役会長の江川健太郎氏にご担当いただき、「総合技術が支える鉄道システム」というテーマのもと、第1部では鉄道の仕組みについて、第2部では電気鉄道の歴史や特性、次世代鉄道技術などについて、写真やデータを用いてわかりやすく講義いただきました。

今後、同社の複数の技術者による14回の講義を通して、電気電子工学分野の鉄道への貢献と企業の活動について理解を深めます。

「武将楠正行絵本制作プロジェクト」がスタート



四條畷楠正行の会(※)と四條畷市役所との官学連携プロジェクト「武将楠正行絵本制作プロジェクト」がスタートしました。このプロジェクトは「楠正行の魅力を広く伝えたい」という趣旨で総合情報学部デジタルゲーム学科の木子香講師へ打診があり、決定した官学連携プロジェクトです。楠正行とは、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて活躍した武将楠正成の実子であり、南北朝時代の四條畷の戦いで楠軍を指揮した武将です。

5月17日に行なわれたプロジェクト5回目の授業では、同会の扇谷昭氏が講師となり、楠正行が活躍した時代の背景から楠正行の人物像まで幅広く説明されました。また、5月20日には楠正行ゆかりの観心寺を訪ね、その人物像や歴史的背景を学びました。今後も講義や学外での実習を通して、今秋の完成を目指し、絵本制作に取り組んでいきます。

※四條畷楠正行(くのきまさつら)の会…南北朝時代の武将楠正行を研究する会。メンバーは10人程度で、月1回集まり研究会を開催しています。

学生が開発したVRゲームを「BitSummit」に出演



5月20日、21日に京都市勧業館(みやこめっせ)で開催されたインディーゲームの祭典

「A 5th Of BitSummit」に、大学院生4人が開発したVRゲームを出展しました。「BitSummit」は、世界中のインディーゲームが集結する日本最大級のインディーゲームのイベントで、5回目となる今回は、多くの応募者の中から審査を通過した97組が出展しました。

本学学生チーム「VR Media Research Project」が制作した「God of Money」は、「好きなだけお金を撒き散らすゲームをつくろう」というテーマで制作をした新感覚のVRゲームです。制作者の一人である市田俊介さん(総合情報学研究科修士課程デジタルアート・アニメーション学専攻2年生)、筒井諒、上賢太郎(同研究科修士課程デジタルゲーム学専攻2年生)、鈴木祐(同研究科修士課程デジタルゲーム学専攻1年生)の4人が中心となり本作を制作。

の現実ではできない体験することで、ストレス解消ができるゲームになっています」とのこと。

単純明快なテーマで、かつ今注目のVRゲーム作品ということで、多くの方に興味をお持ちいただき、待機列ができるなど大盛況となりました。

作品名: God of Money
制作者: VR Media Research Project

市田俊介(総合情報学研究科修士課程デジタルアート・アニメーション学専攻2年生)、筒井諒、上賢太郎(同研究科修士課程デジタルゲーム学専攻2年生)、鈴木祐(同研究科修士課程デジタルゲーム学専攻1年生)の4人が中心となり本作を制作。

耐久ゲーム開発大会「デジゲームジャム2017.06」開催



6月2日から3日にかけて、デジタルゲーム学科主催の耐久ゲーム開発大会「デジゲームジャム2017.06」を開催しました。

ゲームジャムとは、数人のメンバーで構成されたチームで、規定時間内にゲームを1本制作するというイベントです。今回は、総合情報学部デジタルゲーム学科及び情報学科の1~4年生20人が参加し、全部で5つのチームに分かれ、16.5時間という規定時間で開催しました。

2日夜、ゲームのテーマ発表とともに大会がスタート。ディスカッションを経て各チームが企画を考案し、21時から本格的にゲーム開発を始めました。プログラミング、グラフィック、サウンド、プランナーそれぞれが担当ごとに、眠気と戦いながらもチームで協力をして開発を進めました。

そして翌朝、全チームとも見事時間内に作品が完成。夜通しゲーム制作をした学生たちは疲れを滲ませながらも、デジゲームジャムを完走した充実感と満足感に満ちた表情で発表会と試遊会に臨みました。

16.5時間という長いようで短い規定時間内で、各メンバーが強みを發揮して企画から発表まで一貫してゲーム制作に携わることを通して、各自の今後の課題を発見すると共に、全員のゲーム開発に対する情熱と魅力を再認識できる場となりました。



兼宗教授が姫路市で情報教育に関する講演



6月6日、姫路市立総合教育センターで、姫路市の小中特別支援学校の教職員112人を対象に、工学部電子機械工学科の兼宗進教授が「次期学習指導要領を見据えた情報活用能力の育成」と題して、講演を行いました。

兼宗教授は講演の中で、自身が開発したドリトルプログラミング言語の紹介や、コンピュータを使わない情報教育CSアンプラグドの実演を交えながら説明を行いました。

兼宗教授は大阪市や文部科学省の情報教育に関する委員を務めており、小学校・中学校・高等学校の先生方に対し、プログラミングなどの指導や授業のアドバイスを行っています。



後援会より寄贈された4台の大型涼風機が6月末に四條畷キャンパスの体育館に設置され、7月1日、後援会の役員の方々を対象としたお披露目会が行われました。

この大型涼風機は、学生の熱中症対策に役立ててほしいとの思いで後援会より寄贈されたもの。3月25日の寄贈式で、河本後援会会长から伊興田学生部長へ目録が手渡されました。

デジタルゲーム学科とJIAMSが「進撃の巨人 IN THE DOME-兵士たちの星空-」の制作に協力



総合情報学部デジタルゲーム学科と先端マルチメディア合同研究所JIAMSが、現在東京のコニカミノルタプラネタリウム“満天”in Sunshine Cityでは10月29日まで、コニカミノルタプラネタリウム“天空”in 東京スカイツリータウン®では10月1日まで上映される予定です。

本作は、人気アニメ「進撃の巨人」の世界を

巨大なドームスクリーンや迫力あるサラウンド音響によってリアルに体験することができる映像作品です。360度を取り囲む巨大な壁や壁を超える超大型巨人の出現を圧倒的な臨場感で再現しています。

デジタルゲーム学科とJIAMSに所属する学生や教職員が本作の映像・音像制作に携わり、JIAMSモーションキャプチャースタジオではCGモーションの制作を中心に、JIAMS音像スタジオでは本編映像に付加する音響効果の制作を担当しています。本編終了後のエンドクレジットにおいて大学名と共に学科名、JIAMSの名称も記載されています。

コニカミノルタプラネタリウム“満天”in Sunshine Cityでは10月29日まで、コニカミノルタプラネタリウム“天空”in 東京スカイツリータウン®では10月1日まで上映される予定です。

涼風機を設置
後援会から寄贈された
寄贈式の様子

涼風機が6月末に四條畷キャンパスの体育館に設置され、7月1日、後援会の役員の方々を対象としたお披露目会が行われました。

この大型涼風機は、学生の熱中症対策に役立ててほしいとの思いで後援会より寄贈されたもの。3月25日の寄贈式で、河本後援会会长から伊興田学生部長へ目録が手渡されました。

体育会「フレッシュマンズセミナー」開催



7月1日、体育会本部主催の「フレッシュマンズセミナー」を寝屋川キャンパスで開催しました。本イベントは、体育会に入部した新入生を対象とするもので、今年度は2人の講師をお招きました。

まず、株式会社スポーツフィールド 吉浦剛史氏が、「社会からみた体育会の魅力」をテーマに、自己評価と他者評価の違いや思い込みの怖さについて、アンケートなどのワークショップを交えながら説明されました。続いて、株式会社サンリ 取締役 能力開発研究室室長 白井博文氏が、「金メダリストから学ぶ夢実現法則」と題し、「夢」は「力」、価値観を変えることで人は大きく変わるとして、夢実現の法則について紹介されました。

講演終了後には懇親会が行われ、竹田治英クラブ同窓会会長より、新入生に向け一言ご挨拶をいただきました。クラブの垣根を越えて学生同士が交流をはかり、体育会の結束を固めました。

二輪車安全講習会および無料点検を実施



7月12日、最近急増している二輪車事故抑止のため、二輪車安全講習会および無料点検を寝屋川キャンパスで実施しました。

講習会は、寝屋川警察署員の方を講師としてお招きし、事故が起こりやすいシチュエーションや、事故が起こりうる要因などについて、実際の事故事例を例に挙げながらご説明いただきました。40人を超える学生が参加し、二輪車事故の危険性をあらためて実感し、運転手としてのルールやマナーを再確認しました。

また、大学生協の協力のもと実施した二輪車無料点検では、約60人の学生たちが自身のバイクや自転車を持ち込み、タイヤやブレーキなどの状態を点検してもらいました。

今回の講習会や無料点検を通じて、学生たちが二輪車事故への危機意識を高め、今まで以上に安全運転を心がける貴重な機会となりました。

マンダム「男の就活身だしなみセミナー」開催

7月7日、本学と株式会社マンダムは、本学の男子学生限定で、マンダムのヤング男性向けグルーミングブランド「ギャツピー」が提案する「男の就活身だしなみセミナー」を開催しました。

就職支援プログラムの一環として開催された



「マイクロマウス2017 関西地区大会」開催

7月9日、「マイクロマウス2017関西地区大会」が寝屋川キャンパスで開催されました。

マイクロマウス競技は、参加者自らが作った自立型ロボットが自律的に迷路を探索し、ゴールまで達する最短時間を競う競技です。本大会は、マイクロマウス委員会関西支部が主催するもので、1980年より毎年開催されている「全日本マイクロマウス大会」の地区大会となります。



名誉教授称号記授与式

8月1日、寝屋川キャンパスで名誉教授称号記授与式を行いました。

大石利光学長と成瀬淳理事長からは、今回授与された先生方の長年にわたる大学への貢献に対し感謝の言葉が述べられました。また、授与式後の昼食会では、和やかな雰囲気の中、思い出話や近況報告などを楽しむ様子が見られました。



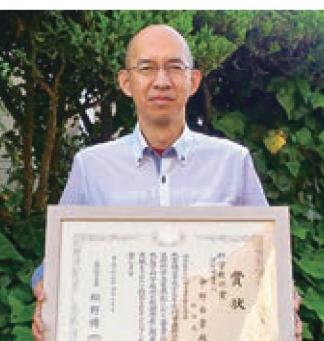
名誉教授(敬称略)

- 福田共和(元副学長・工学部基礎理工学科教授)
- 山原英男(元工学部数理科学研究センター教授)
- 森下克己(元工学部電子機械工学科教授)
- 大野宣人(元工学部基礎理工学科教授)
- 辻谷将明(元情報通信工学部情報工学科教授)
- 樋口英世(元情報通信工学部通信工学科教授)

女子バスケットボール部が 大阪府民体育大会で優勝

5月13日から6月1日にかけて開催された大阪府民体育大会・バスケットボール競技で、本学女子バスケットボール部が予選1位の大坂社会体育専門学校との接戦を制し、見事優勝を果たしました。

この大会は、大阪府下の実業団やクラブチームなど全てのカテゴリーを対象とした大会で、女子バスケットボール部は昨年準優勝を收めており、今回はその記録を超える悲願の優勝となりました。これからの女子バスケットボール部のますますの活躍が期待できます。



中野客員准教授が「科学技術賞」を受賞

4月11日に文部科学省が発表した、「平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」で、総合情報学部情報学科の中野由章客員准教授が所属するグループが、一般社団法人情報処理学会推薦のもと、「科学技術賞理解増進部門」を受賞しました。

本部門は、青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った者を対象とするもので、中野客員准教授らの業績名は「情報教育の評価手法の普及啓発」です。これまで、その評価方法について十分な知見が得られておらず、科目の重要性に対する無理解や、専門性を持つ教員の不足などが問題となっていた情報教育において、適正な評価方法の検討や結果分析、国際比較などの研究を通じて有効な評価方法やるべき方向性への理解を広め、従来型のPC操作スキル中心の情報教育から、21世紀型スキルを重視した「考える」内容の情報教育への移行という重要な変化の推進に寄与したことが評価されました。

5月5日から7日にかけて、愛知県立大学で開催された「ロボカップジャパンオープン2017」の「サッカーサイズリーグヒト型」に本学から2チームが参加し、「ODENS+JK」チームが優勝、「ODENS」チームが準優勝しました。

「ODENS」は総合情報学部情報学科の升谷研究室(升谷博博教授)のチームで、「ODENS+JK」は、升谷研究室と本学の自由工房ヒト型ロボットプロジェクトの合同チームです。この合同チームでは、升谷研究室で開発されたサッカーロボットの行

「ロボカップジャパンオープン2017」で 升谷研究室と自由工房の 合同チームが優勝



「ODENS」と「ODENS+JK」が決勝戦に進出しました。7日に行なわれた決勝戦では、「ODENS+JK」が延長戦終了間際に1点を決めて2-1で勝利し、見事優勝を果たしました。

米国電気電子学会の 「Best Reviewer」を受賞



総合情報学部デジタルゲーム学科の植野雅之准教授が全国大学実務教育協会の「平成28年度実務教育優秀教員」として表彰され、7月28日、大石利光学長より表彰状が授与されました。

一般財団法人全国大学実務教育協会は、大学における実務教育に関する教育課程を認定し、規程に定められた単位を修得した学生に資格認定証を授与している公益法人で、総合情報学部はこの協会の会員校として学生の資格取得を支援する取り組みに力を入れています。

植野准教授は、「上級情報処理士」、「情報処理士」、「Webデザイン実務士」資格教育課程の必修科目をすべて担当し、その熱心な指導によって学生の学修意欲が向上し、資格取得者が増加したことが評価され、「平成28年度実務教育優秀教員」に選ばれました。



植野准教授が 「平成28年度実務教育 優秀教員」に

会は、大学における実務教育に関する教育課程を認定し、規程に定められた単位を修得した学生に資格認定証を授与している公益法人で、総合情報学部はこの協会の会員校として学生の資格取得を支援する取り組みに力を入れています。

植野准教授は、「上級情報処理士」、「情報処理士」、「Webデザイン実務士」資格教育課程の必修科目をすべて担当し、その熱心な指導によって学生の学修意欲が向上し、資格取得者が増加したことが評価され、「平成28年度実務教育優秀教員」に選ばれました。



大阪電気通信大学の 国際交流

2017年度夏期短期留学 プログラム結団式



8月4日、国際交流センター主催の「2017年度夏期短期留学プログラム結団式」を寝屋川キャンパスで開催しました。今回の留学プログラムには11人の学生が参加し、うち6人が韓国の湖西大学校へ、5人が中国の北京科技大学へ留学します。それぞれ、学術交流協定を結んでいる大学で、異文化体験などを通じてグローバルな視野を身につけることを目的としています。

結団式では、学生一人ひとりが自己紹介とともに、「日本との文化の違いを学びたい」、「たくさんの人と交流し、友達を作りたい」など、留学に向けての目標や決意を述べました。

日本文化特別講座を開催

国際交流センターでは毎年新しく編入した留学生を対象に日本文化特別講座を開催しています。6月10日に「華道」、7月1日に「着物着付け」を開催し、中国・韓国・オランダからの協定校留学生が参加しました。

●華道

嵯峨御流の岡本正甫先生より、華道の歴史や心、花態の変遷や暮らしとの関わりの変化についての講義を受け、岡本先生が水盤や花瓶に季節の花を生ける様子を興味深く見学しました。最後は岡本先生から直接指導を受けながら実際に生け花を体験し、花器に好みの花を生け、完成後に自身の作品を紹介・披露しました。



●着物着付け

着付けサークル「つむぎ会」講師の方に教えてもらいながら浴衣の着付けを体験し、その後は着物の歴史や種類、季節毎の選び方などについての講義を受けました。また、盆踊りの振り付けを学び、浴衣姿で先生方と一緒に踊りました。留学生たちは「自分で浴衣を着付けて日本の夏祭りに参加してみたい」と感想を述べました。



「OECUサイエンス×ライフプロジェクト」 アクティブ・ラーニングの場 ベリーベリープロジェクトの

近況活動報告!



『ソルティ・ラズベリー』を今年も販売

東日本大震災復興支援会社「株式会社かけあしの会」と共同開発した炭酸飲料『ソルティ・ラズベリー』を今年も本学の大学生協で販売しています。学生が育てたラズベリーの果汁と岩手県宮古市三陸沖の塩を使った飲料で、甘酸っぱい風味の中にほのかに感じる塩気が特徴です。昨年製造した商品は完売したため、反響に応えて今年も製造を行いました。6、7、8月のオープンキャンパスでも配布し、たくさんの方々から好評をいただきました。



配布しました。ベリーベリープロジェクト



二兎を追わぬ者は 一兎をも得ず

校長 田村博司

囲碁
将棋部

大阪府中・高等学校将棋選手権大会 団体戦で優勝! 全国大会にも出場



6月11日に開催された第41回大阪府中・高等学校将棋選手権大会の高等学校男子団体戦で、囲碁将棋部の清水大世さん(デジタルゲーム開発コース3年生)、里田熙さん、小島遼晟さん(いずれも理数コース1年生)が初優勝を果たし、8月3、4日に開催された第41回全国高等学校総合文化祭(将棋部門)に大阪府代表として出場しました。

電通高校囲碁将棋部は、水・木・金曜日の週3回、フリー対局をはじめ、戦法の研究、棋譜並べなどを中心に活動しています。清水さ

昔のことわざで、「二兎を追う者は一兎をも得ず」ということがあります。これはその言葉通り、「二兎も兎を追っていると、結局一兎も獲れない、同時に二兎も追いかけてはダメだ、欲を出して同時に二つのことをうまくやろうすると、結局はどちらも失敗する」ということをあらわしています。

はたしてそうでしょうか。私は少し違うと思います。高校生の時は是非二兎を追って欲しいと思っています。小さい時から、将来はこんなことをしたい、こんな仕事につきたい、などさまざまな夢や希望をもっている人もいると思います。そして、その夢を実現しようと一生懸命努力し、見事夢を叶えた人も沢山います。しかし、高校時代に自分の将来を決めきれずに悩んでいる人も大勢いるのではないかでしょうか。私はそれでいいと思います。高校時代は二兎でも三兎でも追いかけて欲しいのです。自分の可能性をそんなに早く絞り込まずに、い

ろんにチャレンジしてみてはどうでしょうか。今まで自分が気付いていなかったもう一人の自分に出会えるかもしれません。

高校時代は私の経験から言っても人からいろんな影響を一番受ける時期です。今まで知らなかつた世界に足を踏み入れることもあります。そういうたまたまさまざまな経験を積んで自分の将来を見つめ直す機会になればと期待しています。決して今もうすでに、はっきりとした目標を定めて頑張っている生徒にまで二兎を追え、と言っているわけではありません。そういった人は目標に向かってまっしぐらに進んで下さい。まだはっきりと決めてない人は少しユックリ考えてみてはどうでしょうか。人生は短いようでもあり、長いものもあります。それくらいゆっくり考える時間は高校生の皆さんにはあると思います。

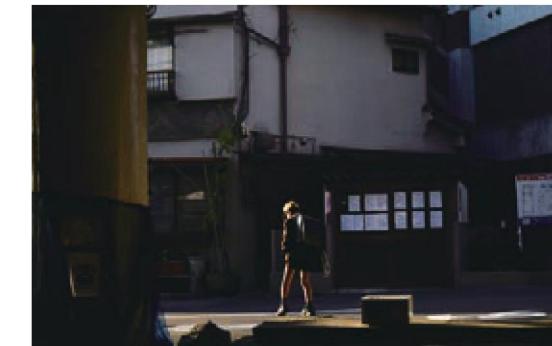
君、急ぎたもう事なれ、です。

生徒活動奨励者一覧 2017年3月卒業生

氏名	クラブ	推薦事項	中学	氏名	クラブ	推薦事項	中学
O.Sさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝	守口市立第三中学校	Y.Hさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝	大阪市立西中学校
U.Sさん	写真部	大阪府高等学校芸術文化連盟主催「春のフォトコンテスト」奨励賞第36回近畿高等学校総合文化祭写真部門 出場	門真市立第七中学校	W.Sさん	—	日本漢字能力検定2級合格	大阪市立城陽中学校
W.Mさん	卓球部	平成27年度第18回大阪高等学校チャレンジカップ2位トーナメント優勝	枚方市立枚方中学校	M.Nさん	—	第2種電気工事士資格取得	大阪市立高津中学校
F.Yさん	メカトロニクス部	ロボカップジュニア関西ブロック大会2位、全国大会に出場	枚方市立東香里中学校	T.Dさん	—	実用数学技能検定2級合格	大阪市立港南中学校
I.Tさん	—	工事担任者試験DD第3種資格取得	枚方市立第四中学校	O.Kさん	バレー	第33回地区選抜大会	交野市立第四中学校
A.Yさん	—	日本漢字能力検定2級合格	四條畷市立四條畷中学校	T.Kさん	ボール部	東地区優秀選手	豊中市立第十八中学校
Y.Kさん	—	第56回情報技術検定1級取得第2種電気工事士資格取得	四條畷市立四條畷中学校	F.Yさん	—	ジュニアマイスターGOLD第2種電気工事士資格取得	茨木市立南中学校
M.Yさん	—	日本漢字能力検定2級合格	大阪市立緑中学校	T.Aさん	卓球部	第54回情報技術検定1級合格	吹田市立豊津中学校
I.Tさん	メカトロニクス部	ロボカップジュニア関西ブロック大会2位、全国大会に出場	大阪市立天王寺中学校	I.Sさん	—	実用数学技能検定2級合格	吹田市立青山台中学校
Y.Sさん	—	工事担任者試験DD第3種資格取得第54回情報技術検定1級合格	大阪市立大正東中学校	S.Kさん	バレー	第56回情報技術検定1級取得	東大阪市立孔舎衙中学校
F.Rさん	—	第54回情報技術検定 成績優秀特別表彰	大阪市立大正西中学校	T.Sさん	—	第33回地区選抜大会	堺市立美多中学校
		実用英語技能検定2級合格		T.Kさん	メカトロニクス部	第54回情報技術検定1級合格	八幡市立男山第二中学校
		大会2位、全国大会に出場				ロボカップジュニア関西ブロック	

第37回大阪府高等学校芸術文化祭写真部門で、写真部の中尾龍介さん(電子情報コース2年生)の作品が奨励賞に輝き、7月31日から8月4日にかけて開催された第41回全国高等学校総合文化祭の大阪府代表作品に選ばれました。

電通高校写真部は、1年生13人、2年生6人、3年生3人の22人(2017年7月時点)で活動しています。普段の活動に加え、校外での撮影会



や夏期合宿を行っており、6、10月には大阪府高等学校芸術文化連盟主催の公式撮影会にも参加しています。普段は和やかな雰囲気ですが、「撮影するときはしっかり」をモットーに、部員同士がコミュニケーションをとりながら、メリハリある活動をしています。「数枚の写真で物語が作れたり、人に感動を与えてたりすることができる」と、写真やカメラの魅力を語ってくれたのは部長の瀬見啓太さん(電子情報コース3年生)。瀬見さんは、なるべく部員全員に声をかけ、部員同士のコミュニケーションを大事にしているそうです。

今回、全国高等学校総合文化祭で見事大阪府代表に選ばれた中尾龍介さんの作品タイトルは「帰り道」。学校終わりに一人さみしく

帰っている小学生を撮影した1枚です。中尾さんは、最初は好きなものを記録するために写真を撮っていたそうですが、写真部に入ったことで友達も増え、今では写真を撮ること自体が楽しいと感じているのだそう。これからもたくさんの作品を撮り続けて、もう一度

写真部

全国高等学校総合文化祭に出展!
中尾龍介さん(電子情報コース2年生)

みやぎ総文 2017

トータルネットホール仙台(仙台市民会館)
平成29年8月1日(火)・8月3日(木)

写
真
部
門

集い伊達の地に
創造の精神に思いをめぐめ



ん、里田さん、小島さんの3人は、幼少期に将棋を教わり、中・高校生になってから本格的に始めたそうです。今回3人で出場した大阪大会団体戦では、予選リーグを難なく突破し、決勝トーナメントでは並み居る強豪に苦戦しながらも、それぞれが持てる力を発揮し、見事全国大会出場を決めました。電通高校が団体戦で全国大会へ出場したのは今回が初めてです。

この結果について3人は、「高校入学前には考えてもみなかったのでとても驚いている」、「素直に嬉しい」などと笑顔で語ってくれまし

進路実績と今後の展開

進路指導部長 辻村 繁

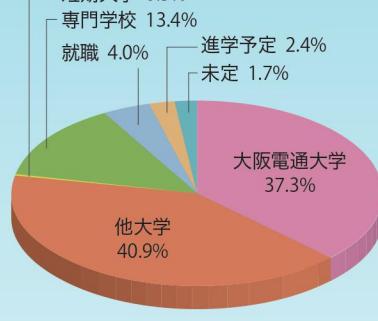
昨年度も安定した景気のもと、高校生の求人倍率は2.23倍、そして就職内定率は99.2%に達し、前年度を大きく上回りました。上昇傾向にある景気は「文高理低」現象を推し進め、それは本校の進路状況にも顕著に現れました。

昨年度の本校の進路状況は資料の円グラフが示す通りです。

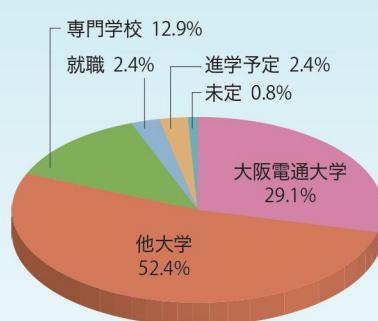
今春の卒業生進路

2017年3月卒業生 進路状況

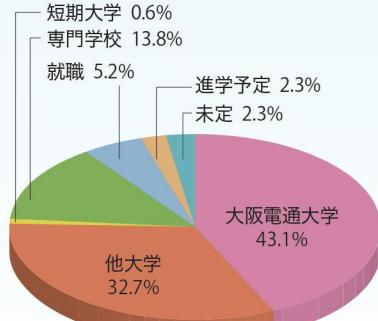
卒業生全体



普通科



電子工業科



大学進学については、昨年度多くの生徒が年明け入試まで頑張り、57人の生徒が一般入試を受験し、そのうち18人が合格しました。周りの雰囲気にのみ込まれず、妥協することなく、志望校合格に向けて挑戦し続けるという強い意志を持つ生徒が年々増えてきました。

また、併設大学の大日本電信通信大学にも111人の生徒が進学しました。そのうち、特別入試で進学した生徒は87人(指定校22人、連携コース65人)で、大阪電気通信大学進学者の78.4%の生徒がこの制度を利用して進学しました。

しかし、年々文系学部への進学が増加傾向にあり、昨年度は普通科進学者の60%以上が文系学部に進学しました。

近年、「社会人基礎力」に定義されているように、企業が求める能力や素養を身に付けるためには、応用性や柔軟性、コミュニケーション能力や問題解決能力という、大学生活を通しての「多様な経験」の蓄積が必要不可欠となります。すなわち、「大学で何を学んできたか」、「大学でどのような力を身につけたか」が問われるなか、経験すべき学びのイメージが固定されて

いる理系学部を避け、「多様な経験」ができる選択の幅が広い文系学部に進学する傾向が強かつたと思われます。

専門学校には40人の生徒が進学しました。医療系人気は衰えることなく看護師、理学療法士、臨床検査技師、放射線技師などの方面に9人が進学しました。医療系に統じて情報系が7人、整備系が6人と、この3分野の人気は毎年変わることがありません。

就職においては、希望者の8人全員が第一希望の企業に採用して頂きました。昨年度も景気

の安定により、製造を始め物流、販売、飲食、事務などさまざまな職種の求人を頂きました。その中で就職希望者の一番人気は製造で、特に地元の企業への希望が多かったことが昨年度の就職状況の大きな特徴だといえます。

今年度も進路指導部では、昨年度に引き続き学年と協力して「キャリア教育」を推進めています。「生徒一人ひとりが自分自身と向き合い、自己の理解・発見を通して、将来を見据えた進路選択ができる力を育成する」という目的を達成するために適性検査をはじめ、進路説明

会、進路講演会などさまざまな取り組みを展開しています。生徒たちが自分で考え、行動し、そして自分で描いた将来像を実現できるような進路を保障するために創意工夫することが進路指導部の大きな課題です。

また、「大阪電気通信大学 中長期計画」の第1次5ヵ年計画にもとづき、進路指導部として大阪電気通信大学との連携をより強固なものにし、大学と高校の相互発展を推進めていくことが今後も重要であるといえます。

中学生・保護者対象 生徒募集説明会

内容：2018（平成30）年度入試説明・施設見学・入試相談 ※予約不要

会場：大阪電気通信大学高等学校

第1回
10/29 SUN第2回
11/11 SAT第3回
11/25 SAT第4回
12/9 SAT

2018（平成30）年度 高等学校入試概要

学 科	普通科	電子工業科
	進学コース 健康スポーツコース	理数コース 電子情報コース 医療電子コース デジタルゲーム開発コース
募集人員	160人	160人
出願期間	1/22 (月) ~ 1/31 (水) 午前9時から午後4時まで(土・日は受付不可) ※郵送の場合は1/31 (水)必着 ※提出先：高等学校事務部	
試 験 日	●筆記試験(国・数・英): 2/10 (土) ●面接試験(受験生のみ): 2/11 (日・祝)	
合格発表	2/13 (火)郵送	
○試験科目：国語、数学、英語 各100点、50分 ○両科とも男女共学 ○普通科の「健康スポーツコース」は1年次より1クラス(40人)募集。 ○電子工業科の「理数コース」は1年次より1クラス(40人)募集。 それ以外のコースは一括募集し、2年次にコース分けを行う。		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		
大阪学院大学		
大阪経済法科大学		
立命館大学		
龍谷大学		
近畿大学		
京都産業大学		
大阪工業大学		
大阪産業大学		
大阪商業大学		
関西外国語大学		
摂南大学		
大阪芸術大学		
大阪工業大学		
阪南大学		
追手門学院大学		
大阪国際大学		</td

2016年度

決算報告

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書(表1)は、学校法人の毎会計年度における、教育研究その他の諸活動に伴い発生する全ての収入、支出の内容及び支払資金の顕末を明らかにしたもので。2016年度における資金収入は108億4,876万円となりました。これに対し資金支出は105億6,133万円で、当年度の資金収支差額は2億8,742万円の収入超過となり、これに前年度の繰越金58億2,371万円を加え、翌年度への繰越金は61億1,114万円となりました。主な内容は、次の通りです。

●収入の部

1. 学生生徒等納付金収入

大学では、授業料収入等の増収により、納付金全体で、前年度より1,973万円の増収、高校では、新入生の増加により、納付金全体で、前年度より659万円の増収

2. 寄付金収入

前年度より269万円の増収

3. 補助金収入

国及び大阪府等からの補助金、このうち経常費補助金は9億2,592万円で、その他の補助金も含め前年度より2,377万円の増収

4. 付隨事業・収益事業収入

主として大学の研究受託収入(36件)

5. 雑収入

主として退職者に対する私学退職金財団からの交付金や施設設備利用料

6. 前受金収入

2016年度末までに2017年度入学生から受領した入学金・授業料等

7. その他の収入

前年度の未収入金の入金額、退職給与引当特定資産の取り崩しによる繰入額、学外諸団体からの預り金の受け入れ等

8. 資金収入調整勘定

期末の未収入金と前期末の前受金で、現金収受が翌年度、前年度に行われ、当年度に資金が入金されないので控除

●支出の部

1. 人件費支出

教職員の給与・退職金。当年度は、全体として1億6,727万円の増額

2. 教育研究経費・管理経費支出

教育研究経費は教育及び研究に要した経費で奨学費、修繕費等、管理経費は、学生生徒募集等に要した諸経費等

3. 施設関係支出

建物・構築物の新築、改修に要する支出。主な支出として、高校耐震補強工事(I期)費用

4. 設備関係支出

機器、備品、図書等教育研究用設備取得に要した支出。主な支出として、大学研究用電力システムリアルタイムシミュレータ導入費用、高校コンピュータ実習室機器設備

5. その他の支出

前年度の未払金の支払い、学外諸団体の預り金の払い出し等

6. 資金支出調整勘定

当年度に計上した諸経費のうち翌年度に支払う金額、または前年度に既に支払った金額、当年度に資金を支出しないので控除

学校法人大阪電気通信大学の2016年度決算は、監査法人及び監事の監査を終え、5月27日の評議員会の諮詢を経て、理事会にて承認されました。

学校法人会計基準では、計算書類として「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、並びに、資金収支計算書を活動区分毎に分け、企業会計におけるキャッシュフロー計算書に位置付け

られる「活動区分資金収支計算書」を作成することとなっています。「活動区分資金収支計算書」や、詳細な決算報告、事業報告の内容につきましては、当学校法人ホームページ(<http://www.osakac.ac.jp/corp/>)内の学園情報に掲載しております。

2016年度の資金収支計算書と事業活動収支計算書、並びに貸借対照表は次の通りです。

2016年度資金収支計算比較表(表1)

単位:千円

科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金収入	7,250,383	7,224,050	26,333
手数料	121,861	124,897	△3,035
寄付金収入	24,023	21,333	2,690
補助金収入	1,302,332	1,278,560	23,772
資産売却収入	19,192	0	19,192
付隨事業・収益事業収入	95,037	118,652	△23,615
受取利息・配当金収入	96,644	117,871	△21,226
雑収入	270,382	176,888	93,494
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,246,180	1,297,180	△50,999
その他の収入	2,077,062	1,891,361	185,700
資金収入調整勘定	△1,654,337	△1,482,054	△172,283
前年度繰越支払資金	5,823,714	5,736,037	87,676
収入の部合計	16,672,479	16,504,780	167,698
科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
人件費支出	4,699,252	4,531,982	167,270
教育研究経費支出	2,075,833	2,045,467	30,365
管理経費支出	713,015	627,772	85,242
借入金等利息支出	21,672	24,354	△2,682
借入金等返済支出	94,430	199,922	△105,492
施設関係支出	779,172	103,519	675,652
設備関係支出	166,551	360,037	△193,486
資産運用支出	1,815,869	2,244,188	△428,318
その他の支出	894,892	1,094,185	△199,292
資金支出調整勘定	△699,350	△550,362	△148,988
翌年度繰越支払資金	6,111,141	5,823,714	287,427
支出の部合計	16,672,479	16,504,780	167,698

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書(表2)は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を示し、事業活動収支の均衡状態を把握して学園の経営状況を見る重要な計算書です。資金収支計算書では、全ての収入支出を表しており、負債となる借入金や預り金の収入、返済金や払出金等の支出が含まれていますが、事業活動収支計算書ではそれらは含まれません。また、事業活動収入の中の「寄付金」に収入の伴わない現物寄付が含まれています(資産となる現物寄付の場合は「その他の特別収入」に含まれます)。事業活動支出の部では、支払資金でない「退職給与引当金繰入額」、「減価償却額」及び資産を売却した売却損や廃棄した場合の「資産処分差額」等の科目が含まれています。概要は、次の通りです。

当年度の事業活動収入の合計は、91億9,841万円で前年度より1億156万円の増額となりました。次に事業活動支出の合計は、86億893万円で前年度より1億7,583万円の増額となりました。

結果として、2016年度の基本金組入前年度収支差額は5億8,947万円の収入超過となり、基本金組入額合計6億2,359万円を控除した当年度収支差額は3,411万円の支出超過となりました。

(注)「基本金組入額」とは学校法人が教育研究等諸活動の計画に基づき取得した資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、基本金組入前年度収支差額から組入れた金額であり、組入れ対象資産として次の4つに区分されます。第一号基本金：設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のための固定資産の価額。第二号基本金：新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる金額その他の資産の額。

第三号基本金：基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額
第四号基本金：恒常に保持すべき資金として定められた計算により算出された額

2016年度事業活動収支計算比較表(表2)

単位:千円

科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金	7,250,383	7,224,050	26,333
手数料	121,861	124,897	△3,035
寄付金	30,541	24,751	5,789
経常費等補助金	1,140,730	1,215,835	△75,104
付隨事業収入	95,037	118,652	△23,615
雑収入	270,591	189,477	81,113
教育活動収入計	8,909,146	8,897,665	11,481
人件費	4,584,543	4,562,619	21,923
[内退職給与引当金繰入額]	(224,431)	(176,469)	(47,961)
教育研究経費	3,184,025	3,153,831	30,193
[内減価償却額]	(1,091,025)	(1,101,137)	(△10,112)
管理経費	726,353	638,318	88,034
[内減価償却額]	(9,784)	(13,949)	(△4,165)
微収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	8,494,921	8,354,770	140,151
教育活動収支差額	414,225	542,895	△128,669
受取利息・配当金	96,644	117,871	△21,226
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	96,644	117,871	△21,226
借入金等利息	21,672	24,354	△2,682
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	21,672	24,354	△2,682
教育活動外収支差額	74,972	93,517	△18,544
経常収支差額	489,197	636,412	△147,214
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	192,622	81,316	111,306
特別収入計	192,622	81,316	111,306
資産処分差額	92,344	50,577	41,766
その他の特別支出	0	3,397	△3,397
特別支出計	92,344	53,974	38,369
特別収支差額	100,278	27,341	72,936
基本金組入前年度収支差額	589,475	663,754	△74,278
基本金組入額合計	△623,592	△424,956	△198,636
当年度収支差額	△34,116	238,797	△272,914
(参考)			
事業活動収入計	9,198,413	9,096,852	101,560
事業活動支出計	8,608,937	8,433,098	175,839

(3) 貸借対照表

貸借対照表(表3)は、法人の財政状態を表すものです。当年度の資産総額は411億4,681万円で前年度より5億2,012万円増加、一方負債の総額は63億440万円で前年度より6,935万円の減少となりました。その結果、資産の部合計から負債の部合計を控除した法人の純資産の部合計は、348億4,240万円で、前年度より5億8,947万円の増加となりました。

2016年度貸借対照表(表3)

単位:千円

資産の部	負債及び純資産の部	
科目	本年度末	前年度末
固定資産	34,562,558	34,532,829
有形固定資産	24,2	

イベント予告

学内・学外で開催される予定のイベント情報を届けします。

第57回大学祭



大学祭実行委員会の学生が中心となり、2日間にわたり寝屋川キャンパスでさまざまな企画を催します。模擬店、展示、ライブなど、楽しいイベントが満載です。

■開催日 11月4日(土)、5日(日)

■会場 大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス

第10回テクノフェア in ねやがわ



地域の方々を対象に、最先端の科学技術をわかりやすく紹介する人気のイベント「テクノフェアinねやがわ」を今年も開催します。本学ならではの多彩なプログラムが満載!

■開催日 11月5日(日)10:30~16:00(10:00~受付)

■会場 大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス・駅前キャンパス

ホームカミングデー



卒業生の方々に、大学の近況に触れ、恩師や同窓生との旧交を温めていただくイベント「ホームカミングデー」を開催します。当時はプロジェクトショマッピングの上映なども予定しています。

■開催日 11月4日(土)

■会場 大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス

なわフェス'17



四條畷キャンパスのイベント「なわフェス」では、四條畷キャンパスイベント運営委員会を中心に、ステージ企画やゲーム大会など、趣向を凝らしたさまざまなイベントを行います。

■開催日 11月26日(日)

■会場 大阪電気通信大学 四條畷キャンパス

2018年度入試日程

募集学部	試験種別	出願期間	試験日	合否発表日
工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部	AO入試	9月22日(金)~10月4日(水)消印有効	10月14日(土)	10月21日(土)
	得意科目セレクト入試	インターネット:9月29日(金)0:00~10月11日(水)20:00 郵送:9月29日(金)~10月11日(水)消印有効	10月22日(日)	10月28日(土)
	専門学科・総合学科特別入試			
	公募推薦入試 A・B日程	インターネット:10月19日(木)0:00~10月31日(火)20:00 郵送:10月19日(木)~10月31日(火)消印有効 窓口:11月1日(水)	A日程:11月11日(土) B日程:11月12日(日)	11月22日(水)
	前期A・B日程	インターネット:1月5日(金)0:00~1月19日(金)20:00 郵送:1月5日(金)~1月19日(金)消印有効 窓口:1月22日(月)・23日(火)	A日程:1月31日(水) B日程:2月1日(木)	2月10日(土)
	後期	インターネット:2月9日(金)0:00~2月21日(水)20:00 郵送:2月9日(金)~2月21日(水)消印有効 窓口:2月22日(木)	3月2日(金)	3月10日(土)
	前期センター方式	インターネット:1月5日(金)0:00~1月31日(水)20:00 郵送:1月5日(金)~2月1日(木)必着	—	2月14日(水)
	後期センター方式	インターネット:2月9日(金)0:00~2月26日(月)20:00 郵送:2月9日(金)~2月27日(火)必着	—	3月10日(土)

※詳しくは、入学試験要項にてご確認ください。

資料請求・お問い合わせ

〒572-8530 寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学 入試部

TEL:072-813-7374 FAX:072-825-4589

HP:<http://www.osakac.ac.jp/> E-mail:nyushi@osakac.ac.jp

寄附者芳名録

2013年2月より開始しました、寄附金募集に対し、多数の方々からのお申込をいただきました。ご支援いただいた皆様のご協力に感謝し、ここにご芳名を掲載させていただきます。

【ご芳名一覧】

①ご芳名は、2017年4月1日から2017年7月31日までにご寄附のお申込をいただいた方(個人)を掲載いたしました。

②ご芳名は、五十音順に掲載いたしました(敬称略)。

個人寄附

今 城 まどか	上 垣 公 明	魚 井 宏 高	江 川 久 美 子	岡 田 大 輔
荻 野 純 茂	門 池 見	金 田 啓 稔	河 合 利 幸	川 口 雅 之
河 崎 節 子	木 村 安 一	木 村 安 壽	末 弘 剛	住 友 雄 太
高 岡 大 造	田 中 孝 徳	辻 本 敏 行	常 久 貴 生	土 居 元 紀
中 田 亮 生	西 野 大 樹	林 内 賀 洋	堀 井 大 輔	前 野 智 子
萬 田 一 樹	向 井 公 一	村 上 泰 司	元 岡 城 作	森 井 房 和
山 下 文 裕	山 本 剛 宏			

合計

¥10,002,207

(2013年2月から2017年7月31日まで)